

## 鹿児島県総務部総務事務センター

## 今後のライフプラン支援

鹿児島県総務部総務事務センター長 寺地 美紀子

## ライフプランセミナー

鹿児島県では、職員の生涯生活の支援、健康づくりの推進等、職員の退職後まで視野に入れた公務員生活の充実を図るため、毎年次のような2つのタイプのライフプランセミナーを実施してきました。

## ①退職準備型

年度末に退職を迎える職員を対象に、退職後の給付、健康管理及び資金管理に関するセミナーです。セミナー終了後に退職後の年金や健康保険等に関する相談の時間を設け、事務手続きのアドバイスができるため、後々の手続きがスムーズです。

なお、こちらのセミナーは、退職を目前にした職員が対象であることから、受講者の関心は比較的高い印象を受けます。

## ②生涯生活充実型

40歳代の職員を対象とした、ライフプランの総論、家庭経済設計及び健康管理を中心としたセミナーです。

以前は、50歳に近い年齢の職員を対象としていましたが、受講後のアンケート調査などから「もっと若いうちから受講したかった」という声があったため、毎年度順次年齢を引き下げながら、最終的には40歳の職員を対象とすることにしています。

ところで、40歳代といえば、子どもの教育（費用を含む）や親の介護という出来事を想像しがちですが、現在は職員の家族観も結婚する・しない、子どもを持つ・持たないといったことに関して多様化しており、アンケート調査でも、過去の家族モデルにとらわれない、多様性のあるライフプラン計画についてのアドバイスを求める声もありました。

## ライフプランガイドブック

また、セミナーの開催とともに、活用しているのが

（一財）地域社会ライフプラン協会作成のライフプランガイドブックです。

両セミナーにおいて、幅広い分野での適切なアドバイスが満載されており、さらに、各世代に合わせわかりやすくまとめられた内容を、時間に余裕のあるときに、興味を持った項目から読み進めることができるので、仕事や子育てなどに特に忙しい40歳代の職員に喜ばれています。

## 今後の課題

両セミナーにおいて、健康管理に関するアドバイスを取り入れてきましたが、最近、生活習慣に起因すると考えられる代謝系疾患のリスクやメンタルヘルス不調者の増加など、改善の必要性を感じることも多くなりました。

定年延長となったこと等を踏まえ、長い職員生活を健康に過ごし、さらに、退職後も健康な生活を送ることが人生設計の基本だとすると、日頃の業務に忙殺されてしまいがちな中でも、生活習慣を見直すきっかけを、できるだけ早い時期に作るという意味からも、セミナーが担う役割は大きいと考えます。

ニーズを探りながら、気軽に受講できるセミナーの内容の充実を図っていきたいと思います。

## 貴協会への要望

先述いたしました、ライフプランガイドブックは、各世代に向けたいへんわかりやすくまとめられており、その内容も幅広い分野にわたっていて、セミナー受講後のアンケート等にも興味のある分野として上位に上げられる、資産管理・資産形成、家族（子育て・介護等）についても、とても参考になります。

世帯の多様性等、その時代に合ったライフプランガイドブックの作成をこれからも是非お願いいたします。